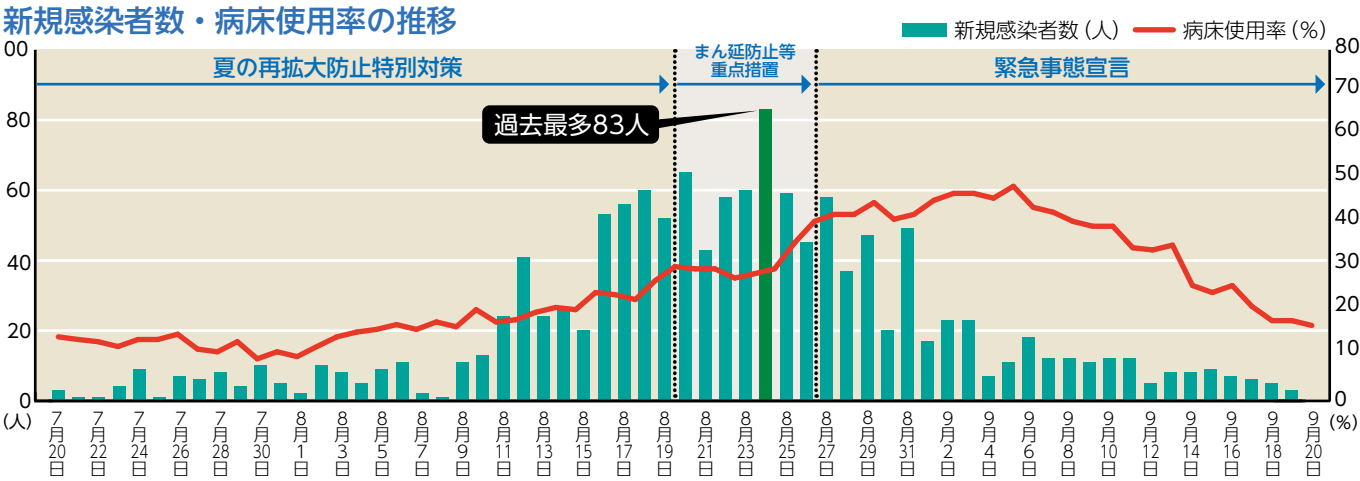


旭川市 新型コロナウイルス情報

若い世代へのワクチン接種が始まります

市内の新規感染者数やワクチン接種状況、新型コロナワクチンの予約方法など、新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。（令和3年9/20現在）

市内の状況			
現在の状況		ワクチン接種状況	
PCR検査実施人数(延)	101,257人	※接種対象人数は令和3年1/1時点	
感染者数(延)	3,390人	接種対象者	1回目接種人数(接種率)
死者数	118人	全体	188,118人(56.8%)
		12歳以上	188,118人(61.9%)
		65歳以上	102,228人(90.7%)
			2回目接種人数(接種率)
			140,569人(42.4%)
			140,569人(46.2%)
			98,808人(87.7%)



発熱等の症状がある場合の受診について (12/31金まで)

発熱等の症状がある場合は、必ず事前に「かかりつけ医」か「新型コロナウイルス感染症健康相談窓口」に電話をしてから受診してください。

かかりつけ医がある → かかりつけ医に電話

かかりつけ医がない → 新型コロナウイルス感染症健康相談窓口(電話) 25・1201

新型コロナワクチンの予約方法

かかりつけの医療機関で接種を希望する方	予約方法=直接医療機関へ電話で予約
右の赤線で囲んだ2次元コード「新型コロナワクチン接種医療機関一覧」の「かかりつけの医療機関で予約」欄に○のついた医療機関で接種できます ※右の2次元コード「医療機関予約受付状況」で受付状況と対象者を確認して予約してください。	医療機関一覧
キャンセル方法 直接医療機関へ電話	予約受付状況

かかりつけ医がない、または集団接種会場で接種を希望する方	予約方法=コールセンター、インターネットで予約
右上の赤線で囲んだ2次元コード「新型コロナワクチン接種医療機関一覧」の「コールセンターや予約システムで予約」欄に○のついた医療機関や、集団接種会場で接種できます	●総合防災センター(東光27の8) ●イオンモール旭川駅前3階(宮下通7)※駐車場有料 ●イオンモール旭川西1階(緑町23) ●地場産業振興センター(神楽4の6)
キャンセル方法 接種前日まで=コールセンター、インターネットでキャンセル 接種当日=予約した医療機関、またはコールセンターへ電話	インターネット予約

予約・相談受付 開設時間=8:45~17:15 ☎25・3501

予約専用 開設時間=8:45~17:15 ☎0570・050・160

【詳細】
新型コロナウイルス
感染症対策担当
代表☎26・1111
(内線5661)



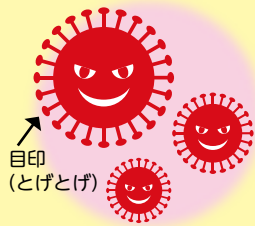
薬剤師さんに聞きました！
ワクチン接種Q&A
若い世代の皆さんにも広く知ってもらうため、ワクチンの効果や副反応、今後の感染対策などを教わりました



薬剤師
ながつか けんた
長塚健太さん

Q 現在、市の集団接種会場や医療機関などで使われているファイザー社製のワクチンは、どのようなものですか

A コミナティ筋注という名称の「mRNAワクチン」です。予防接種とは、外から侵入する病原体と戦うために、ワクチンで前もって練習しておくものです。これまで人類は、主に病原体そのものを薬として使っていました。しかし新型コロナのワクチンは、人間がウイルスを認識する目印(とげとげ)を作るための、mRNAと呼ばれる「設計図」を使っています。この設計図を基に体内で作られ目印を練習台に、体は本物のウイルスの侵入に備えて「免疫」を作ります。設計図は非常に不安定な物質で、役目を終えたとすぐに分解されて体内から消えます。そのため長期的に体の中で悪さをしたり、ウイルスの遺伝情報が人間のDNAに組み込まれたりすることはありません。



Q 若い世代への接種が始まりますが、その重要性をどのように考えますか

A 若者は感染しても軽症や無症状であることが多く、行動範囲が広いと、無自覚のうちに感染を拡大させてしまう可能性があります。そのため、若者へのワクチン接種を進めることは、感染拡大の抑制にとっても効果的です。また、ウイルスの感染は突然なので、もし感染すると、楽しい行事や大切な試験など、お子さんやご家族の生活に大きな影響が出ますが、ワクチンは、自分のスケジュールに合わせて接種できるため、たとえ副反応が出ても計画的に対応することができます。お子さんへの接種に慎重になる保護者もいると思いますが、ワクチン接種のメリット等についてご家族で話し合い、接種をご検討ください。



Q 副反応が心配です

A 若い世代は、副反応が起きる確率が高いとされています。これは、免疫反応が正常に起こりやすいからではないかと考えられています。発熱やだるさ、筋肉痛などの症状が出る場合がありますが、多くは数日で軽快します。解熱鎮痛剤も服用できるので、用量や用法が不安な場合は、薬剤師や登録販売者にご相談ください。

Q 今後の感染対策で、どんなことに気を付けると良いですか

A ワクチンは発症予防に高い有効性がありますが、感染を完全に防ぐことはできません。基本的な対策として、「マスク」「手洗い」「密を避ける」「換気・加湿」を根気よく続けていただくをお願いします。特に換気が重要です。デルタ株は、感染者から放出されるウイルス量がとても多いといわれています。換気・加湿がされず、ウイルスが空気中に存在しやすくなると、感染リスクは高まります。これから寒い時期になりますが、ぜひ、しっかり換気を実践してください。



Q 薬剤師の視点から伝えたいことは

A ワクチン接種は任意ですが、後悔しないためにも、正しい情報を基に、ご自身が納得できる選択をしていただきたいです。ワクチン接種に関して分からないことや不安なことがあれば、かかりつけ医や薬剤師にぜひご相談ください。